



『ピカソとポニーテールの少女 - パブロ・ピカソのおはなし -』 CE E ア ローレンス・アンホルトさく

あべのりこやく ベファアーナ

シルヴェットの住む町に、世界的に有名な画家ピカソがひっこしてきました。絵のモデルになってほしいといわれたシルヴェットは…。実話をもとにした絵本です。

逗子市立図書館

2018年（平成30年）10月1日発行 vol.21

マーメイドくらぶ

子ども版

逗子市逗子 4-2-10 TEL046(871)5998(自動音声応答)

<https://www.library.city.zushi.lg.jp>

『ぼくはクロード・モネ』 72 円

はやしあやの 林 綾野さく たんふるたんえ 講談社

光の画家といわれるクロード・モネの人生をたどります。モネの代表的な作品のくわしい紹介もあります。



『ベラスケスの十字の謎』 96 円

エリアセル・カンシーノ作 宇野和美訳 徳間書店

スペインの有名な画家ベラスケスが描いた、実在する絵にまつわるファンタジーです。実はこの絵には、ある秘密がありました。宮廷で働く少年・ニコラスはその秘密に気づき…。



『せんをたどって』 E 1

ローラ・ユンクヴィストさく ふしみみさをやく 講談社

1本のせんが描く街、人、魚や動物。せんがつなげる旅のおはなしを読んでみましょう。表紙の本のタイトルのせんは、どこまでつながっているのかな。



「アートにふれる秋」

さあ、秋です。とても過ごしやすい季節ですね。今回のマーメイドくらぶは「アート（芸術）にふれる」をテーマに、13冊の本を紹介し、絵画や音楽など様々なアートにふれて、楽しんでください。

『マーメイドくらぶ』って・・・？

『マーメイドくらぶ』は、子ども版とYA（ヤングアダルト）版を3か月毎に交互に発行しています。テーマごとの本の紹介や図書館からのお知らせなど、図書館と本に関する情報をできるだけたくさんお届けします。

『みんながたのしくなる影絵の世界』 77 ミ 1~3

影絵人 形劇団みんなわ座監修・著 こどもくらぶ編 六耀社

自分の体を使った影絵あそびから本格的な人形劇まで...影絵って奥が深いんです。みんなで影絵の世界を楽しんでみましょう。



『こどもたちのオーケストラ入門』 76 ヤ

矢吹申彦文とえ 評論社

クラシック音楽のコンサートに行ったことはありますか。この本は、ブリトゥンの有名な曲「こどもたちのオーケストラ入門」をもとにして、やさしく、楽しくオーケストラを説明していますよ。



『ジス・イズ・ニューヨーク』 29 サ ミロスラフ・サセック著

松浦弥太郎訳 ブルース・インターアクションズ

2016年に生誕100周年を迎えたサセックの『ジス イズ・』シリーズ。絵を通して世界の街を歩いてみませんか？世界の街の魅力と個性に夢中になるハズ！



『てん』 YA E レ

ピーター・レイノルズ作 谷川俊太郎訳 あすなろ書房

お絵かきの時間になにもかけないワシテ。先生に「しるしをつけてみて」と言われ、カマかせにつけた“てん”から次々にアイデアがうかび…。絵を描くことの楽しさが広がる絵本です。



『みーつけた！ -絵のなかで動物たちがかくれんぼ-』 72 ミ

ルーシー・ミクルスウェイト構成 俵万智ことば フレーベル館

世界の名画20点の中で、かくれんぼしている動物を見つけましょう。遠くからながめるだけでなく、クローズアップして見ることで、新しい発見がありますよ。



『りんごの礼拝堂』 52 タ

たくぼひさこ文 HAYATO 絵 福音館書店

フランスの田舎に500年前に建てられ、あれはてた礼拝堂がありました。日本人美術家が家族とともに移住し、10年かけてりんごの礼拝堂として再生した記録です。



『ズーム』 E バ イシュトバン・バンニヤイ著 ブッキング

文字もストーリーもないポップな絵だけの絵本です。ページをめくるにつれ絵がどんどん小さくなり、世界が広がっていきます。ニワトリのとさかから始まった絵が、地球にまで広がっていく不思議な世界を楽しんでください。



『文様えほん』 72 タ 谷山彩子作 あすなろ書房

着るものや身のまわりのもの、建物などをかざるためにえがかれたもようのことを文様といいます。この本では大昔から今までの日本や世界の国々の文様を紹介しています。



『世界でいちばんやかましい音』 93 I

ベンジャミン・エルキン作 松岡享子訳 太田大八絵 こぐま社

やかましいことが大好きな王子さま。たん生日には、「世界で一番やかましい音が聞きたい！」というのです。そこで王さまは全世界の人々に伝令を送りましたが…。

